

## 市議会の I C T 化について

### 1 本会議のインターネット映像配信について

#### (1) 現状と課題

本市議会では、本会議当日に傍聴することができない市民に対し、議会の審議情報が提供されていない。現在県内 37 市のうち、本会議のインターネットによる映像配信を実施していない市は、富津市を含め 2 市である。

#### (2) これまでの経緯

平成 18 年度から継続して協議を行い、平成 29 年度には議会運営委員会で行政視察を行ったところである。

令和 2 年 6 月、議長が議会運営委員会に諮問し、9 月に「実施に向け業務の継続性等総合的に検討すべきである」との答申を受けた。

#### (3) 整備の方針

答申を尊重しつつ、A S P 方式及び YouTube 等方式のそれぞれメリット、デメリットを検討した結果、下記の理由により A S P 方式により整備することが適当であると判断し、令和 3 年 9 月定例会から導入する方針とする。

#### 【理由】

(ア) 職員が簡単に操作でき、安定した配信することができる。

(イ) 市民は市議会 HP から映像を簡単に検索できる。

(ウ) 第三者によって映像が加工されにくい。

(4) 予算額 2,006 千円（初期費用：1,352 千円、管理費用：654 千円）

※ A S P 方式：事業者インターネット放映システムを委託する仕組み

### 2 ペーパーレス化について

#### (1) これまでの経緯

議会運営委員会で平成 29 年度に行政視察を実施し、その後、令和元年度の行政視察は台風被害により中止したところである。

令和 2 年 6 月、議長が議会運営委員会に諮問し、9 月に「今後調整すべきことが多いことからインターネット映像配信を優先して実施し、その後に導入する等計画的に整備すべき」との答申を受けた。

#### (2) 今後の方針

今後、ペーパーレス化等 I C T を活用した議会運営の手法について、継続して検討するものとする。